

2018 年度 早稲田大学大学院教育学研究科修士課程入学試験問題訂正

《一般・外国学生・専門科目》 問題冊子 4 ～ 5 ページ

【国語教育専攻】

【選択三】 二 (P.4)

＜誤＞次の(E)～(K)のうち、三題を選択して簡潔に（解答用紙八行以内）説明しなさい。

＜正＞次の(E)～(K)のうち、三題を選択して簡潔に（一題につき解答用紙八行以内）説明しなさい。

【選択四】 二 (P.5)

問題説明文

＜誤＞次の(E)～(M)のうち、三題を選択して簡潔に説明せよ。

＜正＞次の(E)～(N)のうち、三題を選択して簡潔に説明せよ。

選択肢

＜誤＞(K) 方違い

＜正＞(N) 方違い

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般入学試験問題 「専門科目」

【国語教育専攻】

解答上の注意

一、国語教育専攻の入学試験問題は、「専門科目・選択」（配点60％）と「専門科目・共通」（配点40％）とに分かれています。

①「専門科目・選択」は、出願時に届け出た研究指導・指導教員の専門分野により、左記の表の「解答すべき問題」（選択一～選択八）を解答しなさい。なお、「解答すべき問題」以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。

志願票に記入した 研究指導名	志願票に記入した 指導希望教員名	「専門科目・選択」で 解答すべき問題
国語科教育研究指導	幸田 国広	選択一 国語教育
国語科教育研究指導	町田 守弘	選択二 日本語学（日本語教育を含む）
日本語学研究指導	松本 正恵	
国文学研究指導	松本 直樹	選択三 古典文学 I 上代文学
国文学研究指導	新美 哲彦	選択四 古典文学 II 中古文学
国文学研究指導	福家 俊幸	選択五 古典文学 III 中世文学
国文学研究指導	大津 雄一	
国文学研究指導	田淵 句美子	選択六 古典文学 IV 近世文学
国文学研究指導	中嶋 隆	選択七 中国古典文学
国文学研究指導	内山 精也	
国文学研究指導	堀 誠	選択八 近代文学
国文学研究指導	石原 千秋	
国文学研究指導	金井 景子	
国文学研究指導	和田 敦彦	

②「専門科目・共通」（共通一～共通二）は、志願者全員が解答する問題です。

二、

- ・「専門科目・選択」「専門科目・共通」ともに、解答用紙は「問題番号」ごとに一枚ずつ使用すること。
- ・全ての解答用紙の所定欄に、受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
- ・「専門科目・選択」については、空欄に「問題番号」（例「選択一」「選択二」など）を必ず記入すること。選択問題用の解答用紙は二枚配布されるが、「選択八」以外は一枚だけを使用すること（「選択八」は、指示に従い、二枚を用いること）。
- ・「専門科目・共通」については、「共通一」「共通二」それぞれ所定の解答用紙を用いること。

三、

解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。

四、

問題用紙は「十一枚」（本ページ含む）、解答用紙は「四枚」です。必ず枚数を確認すること。

以上

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
「専門科目・選択」 【国語教育専攻】

「選択一」 国語教育

※解答に際しては選択した問題番号を明記すること。

一、次のA～Hのうちから三題を選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- | | | | |
|---|-------------|---|--------------|
| A | 学力の三要素 | B | 主体的・対話的で深い学び |
| C | 常用漢字表 | D | 一読総合法 |
| E | 言葉による見方・考え方 | F | コンポジション理論 |
| G | サクラ読本 | H | 『山びこ学校』 |

二、次のI～Nのうちから二題を選び、具体的に論じなさい。

- | | |
|---|-------------------------|
| I | 筆者想定法のねらい |
| J | 昭和二十六年版学習指導要領（試案）の歴史的位置 |
| K | PISA型読解力の特徴 |
| L | 時枝誠記の国語教育論の特徴 |
| M | センテンスメソッドの歴史的意義 |
| N | 大学入学共通テストの記述式問題のねらい |

三、中教審答申（平成二十八年一二月）では、次のような課題が指摘されているが、このことについて、あなたの考えを述べなさい。

高等学校の国語教育においては、教材の読み取りが指導の中心になることが多く、国語による主体的な表現等が重視された授業が十分行われていないこと、話し合いや論述などの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域の学習が十分に行われていないこと、古典の学習について、日本人として大切にしてきた言語文化を積極的に享受して社会や自分との関わりの中でそれらを生かしていくという観点が弱く、学習意欲が高まらないこと（一二七頁）

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
「専門科目・選択」 【国語教育専攻】

〔選択二〕 日本語学

一 次のA～Lの事項のうちから四題を選び、説明しなさい。

- | | | | | | |
|---|----|---|--------------|---|-------|
| A | 契沖 | B | 『ロドリゲス日本大文典』 | C | とりたて |
| D | 開合 | E | 漢文訓読文 | F | 方言区画 |
| G | 語種 | H | ソシユール | I | あいづち |
| J | 音便 | K | 受給・受益の表現 | L | T P R |

二 次のM～Oのうちから一題を選び、具体的に論じなさい。

- M 係り結びの機能とその崩壊過程について
N 多義語と同音・同訓異義語の境界について
O 日本語研究・日本語教育における談話分析研究の有用性について

三 日本語学とはどのような学問か。専門外の人にもわかりやすいように、具体例を交えながら、学問領域・研究対象・研究方法・研究の意義等について多角的に述べなさい。

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

「専門科目・選択」 【国語教育専攻】

【選択三】 上代文学問題

一、次の(A)～(D)のうち、二題を選択して論述しなさい。解答の際には、選択した問題番号を明記すること。

(A) 『古事記』の出雲神話

(B) 「古老相伝旧聞異事」

(C) 『日本書紀』の天地開闢神話

(D) 額田王

二、次の(E)～(K)のうち、三題を選択して簡潔に（解答用紙八行以内）説明しなさい。解答の際には、選択した問題番号を明記すること。

(E) 大物主神

(F) フロチ退治神話

(G) 雄略天皇

(H) 上代特殊仮名遣い

(I) 高橋虫麻呂

(J) 黄泉戸喫

(K) 行路死人歌

三、「日本」の文学・文学史を研究することの意義について、あなたの考えを簡潔に（解答用紙一〇行以内）述べなさい。

（上代文学問題、以上）

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
「専門科目・選択」 【国語教育専攻】

〔選択 四〕 古典文学(Ⅱ) 中古文学

解答に際しては選択した問題の記号を明記すること。

一、次の(A)～(D)のうち、二題を選択して論述せよ。

- (A) 一条天皇の後宮文化
- (B) 平安時代の仮名日記の特質
- (C) 古注釈書について
- (D) 物語研究の手法とその意義

二、次の(E)～(M)のうち三題を選択して、簡潔に説明せよ。

- (E) 『古今和歌集』 (F) 『とりかへばや物語』
- (G) 冷泉家流古注釈 (H) 草子地 (I) 漢文日記
- (J) 『更級日記』 (K) 『浜松中納言物語』
- (K) 方違え (L) 『堤中納言物語』
- (M) 平安時代の文学における乳母

三、中古文学を学校教育で学ぶ意義とは何か、あなたの考えを述べよ。

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
「専門科目・選択」 【国語教育専攻】

〔選択五〕 古典文学 (Ⅲ) 中世文学

一、次の①～⑧の中から二題を選択して、詳しく論述しなさい。

- ① 説話文学の特質について
- ② 『平家物語』の延慶本および寛一本について
- ③ 末法思想、無常観と中世文学のかかわりについて
- ④ 『平家物語』教材化の歴史と教材化の可能性について
- ⑤ 天皇と和歌について
- ⑥ 勅撰和歌集と私家集について
- ⑦ 贈答歌の特質と展開について
- ⑧ 中世の女訓書について

二、次の①～⑩の中から三題を選択して、簡潔に説明しなさい。

- ① 太平記
- ② 宇治拾遺物語
- ③ 増鏡
- ④ 徒然草
- ⑤ 風姿花伝
- ⑥ たまきはる
- ⑦ 明月記
- ⑧ 建礼門院右京大夫集
- ⑨ 源承和歌口伝
- ⑩ 玉葉和歌集

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
「専門科目・選択」 「国語教育専攻」

【選択六】 古典文学（Ⅳ） 近世文学

一、井原西鶴・松尾芭蕉・近松門左衛門・上田秋成・鶴屋南北・山東京伝・大田南畝・滝沢馬琴の中から、一人を選び、その文芸の特徴と文学史上の位置について、自由に論じなさい。

二、次の（１）～（７）の中から、一題を選択し、論述しなさい。

- （１）井原西鶴の「町人物」の概要と特徴について述べよ。
- （２）芭蕉俳諧における旅の意義について述べよ。
- （３）近松門左衛門「世話物」浄瑠璃の概要と特徴について述べよ。
- （４）大田南畝の文芸活動と寛政改革の影響について述べよ。
- （５）山東京伝の文芸活動と寛政改革の影響について述べよ。
- （６）鶴屋南北の代表作をあげ、その特徴について述べよ。
- （７）上田秋成の読本の概要と特徴について記せ。

三、次の（８）～（１６）の中から、三題を選択し、簡潔に説明せよ。

- | | | | | | |
|------|------|------|---------|------|---------|
| （８） | 竹斎 | （９） | 好色五人女 | （１０） | 男色大鑑 |
| （１１） | 猿蓑 | （１２） | 曾根崎心中 | （１３） | 東海道四谷怪談 |
| （１４） | 雨月物語 | （１５） | 金々先生栄花夢 | （１６） | 南総里見八犬伝 |

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
「専門科目・選択」 【国語教育専攻】

〔選択七〕 中国古典文学 問題

〔一〕 次の作品は李白の「春思」という詩である。この詩を読んで、設問に答えなさい。

① 燕草如碧絲 秦桑低綠枝

② 當君懷歸日 是妾斷腸時

③ 春風不相識 何事入羅幃

注・燕 現在の首都、北京一帯の地。

・秦 現在の陝西省西安一帯の地。西安は唐の都長安。

〔設問一〕 右の李白の詩は、題材的には 詩と呼ばれるジャンルに分類される。空欄に入るもつとも相応しい語を漢字二字（楷書）で記しなさい。

〔設問二〕 傍線①「燕草……綠枝」は、燕と秦の地域差を詠じた句である。どのような違いを詠じているのか簡潔に説明せよ。

〔設問三〕 傍線②「當君……腸時」を、書き下し文に改めるか、現代中国語の発音記号（ピンイン）で書くか、いずれかを選んで答えなさい。

〔設問四〕 傍線③「春風……羅幃」を、口語訳しなさい。

〔設問五〕 作者李白とほぼ同一世代の詩人を、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 白居易 イ 賈島 ウ 劉希夷 エ 孟浩然 オ 韋應物

〔二〕 次のア～エの中から一つを選択し、その記号を解答欄に記した上で、説明ならびにあなたの考えを記しなさい。

ア 中唐の文学史的意義について

イ 中国田園詩の系譜について

ウ 中国文学史における「講史」について

エ 日中比較文学の方法について

オ 「漢文」教育における教材の問題点について

〔三〕 次の（Ａ）～（Ｊ）の中から三つの項目を選び、その記号を解答欄に記した上で、それぞれの文学史ないしは文化史的意味を中心に説明しなさい。

（Ａ）『詩経』

（Ｂ）六書

（Ｃ）「離騷」

（Ｄ）「鶯鶯伝」

（Ｅ）元輕白俗

（Ｆ）唐宋古文

（Ｇ）『滄浪詩話』

（Ｈ）『三国志演義』

（Ｉ）明七子

（Ｊ）胡適『白話文学史』

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
「専門科目・選択」 【国語教育専攻】

「選択八 近代文学」

一 日本の近代文学を研究する意義、方法について、あなたの考えるところを述べなさい。
二 次の(A)と(E)の中から一題を選択して論じなさい。

- (A) 政治小説について
(B) 自然主義における描写について
(C) 「小説の筋」論争について
(D) 私小説について
(E) ポスト・コロニアル批評について

三 次の(A)と(G)の中から三題を選択して説明しなさい。
(「」は作品名、『』は雑誌名を示す)

- (A) 尾崎紅葉 (B) 田村俊子 (C) 『青鞥』
(D) 『戦旗』 (E) 「宣言一つ」 (F) 「文字禍」
(G) 「伊豆の踊子」

【注意】問題一と問題二・三とは、別々の解答用紙を用いて解答しなさい。

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般入学試験問題
【専門科目・共通】 【国語教育専攻】

「共通」

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

マジョリティの「意識変革」(内なる差別の克服)を強く要求する運動の形態は、マイノリティとマジョリティの双方に重い課題を突き付ける。マイノリティの人々は、自分たちが置かれた厳しい状況への「共感」をマジョリティに要求することがある。しかし、同じ「体験」をもたないマジョリティには、本格的な「共感」は難しい。せいぜい、「同情」のレベルでの対応しかできない場合もしばしばある(これをどのように超えるかについては、想像力の問題も含めて、かなり厳しい自己点検を要請される)。しかし、マイノリティにとって、「同情」は外部からの(当事者の悩みや苦しみを共有しない、クールな)まなざしにしかみえないかもしれない。逆に、それを超えて「共感」を装えば、そこには「嘘」が見え隠れすることにもなる。両者の間に生じるこうした「断絶感」は、相互の離反さえ生むことがある。

マイノリティとマジョリティ相互のぶつかり合い(相互の「立場性」の認識のズレ)のなかでの「混乱」は、まだ「まし」なのかもしれない。そこから、次の相互認識につながる場合も多いからだ。実際、個人的にも、こうした「認識の不一致」から始まった「やりとり」のなかで、自分が変わっていったという経験を多くもっている。

とはいえ、マジョリティに自己変革を求めることの困難さは、とてつもなく大きかった。何よりもマジョリティは、自分たちが「変わる」必要を感じていないからだ。なぜならば、自分たちのやり方が「主流派」「社会の常識」だと思っているからなのだ。

「外部」と思っている存在からの自己変革の要求に対しては、「事なかれ」型の表面的受容で対応するか、厚い壁を作って防御に入るか、あるいは反撃するか、といった形になりやすい。いずれにしても、「変わりたくない」「変わる必要はない」という思いが控えているのだ。

だから、マジョリティだった男性たちの自己変革のためには、彼らの日常に亀裂を入れ、気づきと認識を(できるだけ自然に)生み出さなければならない。特に、ジェンダー問題では、近代産業社会の男性主導の仕組みが、男性存在を(自らの男性性の無自覚な確認・承認要求のために)不安定にしてきたことも、明らかだ。マジョリティとして「抱え込んできたもの」の意義と意味をもう一度考えてもらう必要があるのだ。

この三十年間、筆者は、ジェンダー平等社会を形成するには、男性主導社会の担い手「マジョリティ」である男性を変える(男性が変わる)必要性があると思いつけてきた。それが女性の社会参画の拡大には必要だ。しかし、男性たちには、社会的マイノリティである女性たちが抱える問題が見えにくい。

逆に、マイノリティのアイデンティティ・ポリティクスは、ときにマジョリティを厳しく批判する。これがマジョリティに反発や無視を生じさせ、「この問題には関わらないようにしよう」的な対応が通常とされることになる。これでは、マジョリティは変わらないし、変わらない。

(伊藤公雄「男性学・男性性研究とジェンダー教育の重要性」による)

問 傍線部「マジョリティに自己変革を求めることの困難さ」とあるが、本文で述べているその「困難さ」を簡潔にまとめるとともに、それを克服する方策について、国語教育と具体的に関わらせながら、自分の考えを述べなさい。

二〇一八年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般入学試験問題

「専門科目・共通」

【国語教育専攻】

【共通二】

次の文章は『発心集』の一節である。これを読んで、後の問いに答えよ。

近きころ、蓮花城といひて、人に知られたる聖ありき。登蓮法師あひ知りて、ことにふれ、情けをかけつつ過ぎけるほどに、年ごろありて、この聖のいひけるやうは、「今は、年にそへつつ弱くなりまかれば、死期の近付くこと疑ふべからず。終り正念にてまかりかくれんこと、極まれる望みにて侍るを、心の澄む時、入水をして、終り取らんと侍る」といふ。

登蓮聞き、驚きて、「あるべきことにもあらず。今一日なりとも、念仏の功を積まんとこそ願はるべけれ。さやうの行は、愚癡なる人のする業なり」といひて、諫めけれど、さらに **I** 思ひ堅めたることと見えければ、「かく、これほど思ひ取られたらんに至りては、留むるに及ばず。さるべきにこそあらめ」とて、そのほどの用意なんど、力を分けて、もろともに沙汰しけり。

つひに、桂川の深き所に至りて、念仏高く申し、時経て、水の底に沈みぬ。その時、聞き及ぶ人、市の如く集まりて、しばらくは、貴み悲しぶこと限りなし。登蓮は年ごろ見なれたりつるものと、あはれに覚えて、涙を押へつつ帰りにけり。

かくて日ごろ経るままに、登蓮、物の怪めかしき病をす。あたりの人 **II** 思ひて、こととしけるほどに、霊あらはれて、「ありし **A**」と名のりければ、「このこと、げにと覚えす。年ごろあひ知りて、終りまでさらに **2** 恨みらるべきことなし。いはんや発心のさまなほざりならず、 **III** て終り給ひしにあらずや。かたがた、何の故にや、思はぬさまにて来たるらん」といふ。

物の怪のいふやう、「そのことなり。よく制し給ひしものを、我が心のほどを知らず、いひがひなき死にをして侍り。さばかり人のためのことにもあらねば、その際にて思ひ返すべしとも覚えざりしかど、いかなる天魔のしわざにてありけん、まさしく水に入らんとせし時、たちまち **IV** なんなりて侍りし。されども、さばかりの人中に、いかにして我が心と思ひ返さん。あはれ、ただ今制し給へかしと思ひて、目を見合せたりしかど、知らぬ顔にて、『今はとくとく』ともよほして、沈みてん恨めしさに、何の往生のことも覚えす。 **4** すずろなる道に入りて侍るなり。このこと、我が愚かなる過なれば、人を恨み申すべきならねど、最期に口惜しと思ひし一念によりて、かく詣で来たるなり」といひけり。

これこそげに宿業と覚えて侍れ。かつはまた末の世の人の誠めとなりぬべし。

問一 『発心集』の編者を答えよ。

問二 傍線部1「あるべきことにもあらず」とあるが、誰が何をするのがなぜ「あるべきことにもあらず」なのか、わかりやすく説明せよ。

問三 空欄I～IVに入る語として最も適切なものを、次のイ～ハの中から選び符号で答えよ。

イ をかしく ロ くやしく ハ 貴く ニ 恥づかしく ホ ゆるぎなく ヘ あやしく

問四 空欄Aに入る語を答えよ。

問五 傍線部2の動詞「恨み」の活用の種類を答えよ。

問六 傍線部3「何の故にや、思はぬさまにて来たるらん」を現代語訳せよ。

問七 傍線部4「すずろなる道に入りて侍るなり」について、そうなった理由をわかりやすく説明せよ。